作成日：2015年10月20日
改訂日：2020年7月31日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : ホルス EGF
会社名 : 株式会社 ホルス
住所 : 東京都中野区中野3-3-5
電話番号 : 03-5328-9331
FAX番号 : 03-6735-8950

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 全て「分類できない」、「分類対象外」、「区分外」のいずれかに該当する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の分類 : 混合物

表示名称	INCI名称	CAS番号	含有量	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
水	Water	7732-18-5	98.555%	-	-
ヒト遺伝子組換オリゴペプチド-1 (ヒトオリゴペプチド-1)	rh-Oligopeptide-1 (-)	62253-63-8	0.001%	-	-
水添レシチン	Hydrogenated Lecithin	92128-87-5	0.240%	-	11-(4)-872
コレステロール	Cholesterol	57-88-5	0.060%	(4)-1301	-
キサンタンガム	Xanthan Gum	11138-66-2	0.006%	(8)-535	-
ココイルサルコシンNa	Sodium Cocoyl Sarcosinate	61791-59-1	0.003%	-	-
エタノール	Alcohol	64-17-5	0.135%	(2)-202	-
フェノキシエタノール	Phenoxyethanol	122-99-6	1.000%	(3)-558 (7)-78 (9)-1277	-

危険有害成分 : 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 触れた部位を水及び石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合 : 清浄な水で洗眼した後、医師の診断を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 初期火災には、水・二酸化炭素・粉末などを用いる。
大規模火災には、粉末泡抹消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤 : 情報なし
特有の危険有害性 : 情報なし
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は保護具を着用し、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。
環境に対する注意事項	:	流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和などや封じ込め及び浄化の方法・機材	:	少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りを雑巾などでよくふき取る。多量の場合、毛布、土嚢などでその流れを止め、安全な場所に導いてから容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
局所排気・全体排気	:	局所排気装置を設置した場所で行う。
注意事項	:	開封後は、使い切ることが望ましい。
安全取扱い注意事項	:	作業場の換気を行い、取り扱い後は手洗い、うがいをする。

保管

技術的対策	:	情報なし
混合接触禁止物質	:	情報なし
適切な保管条件	:	直射日光を避け、冷暗所に保管する。再保管する際は微生物汚染に注意する。
安全な容器・包装材料	:	製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	:	設定されていない。
許容濃度		
日本産業衛生学会	:	設定されていない。
ACGIH	:	設定されていない。
設備対策	:	局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具		
呼吸器の保護具	:	マスク
手の保護具	:	保護手袋
眼の保護具	:	保護眼鏡（普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	:	長袖作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）	:	乳白色の液体
におい	:	わずかに特異なにおいがある
pH	:	6.0～8.0
沸点	:	データなし
融点	:	データなし
初留点及び沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
燃焼又は爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
比重（相対密度）	:	データなし
溶解度	:	水に易溶

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の取扱い条件においては、安定である。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件では特にない。
避けるべき条件（静電放電、衝撃、振動など）	:	高温多湿、極端に低温な環境
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	情報なし

11.有害性情報

急性毒性	:	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	データなし
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	:	データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	:	データなし
吸引性呼吸器有害性	:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	:	データなし
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壌中の移動性	:	データなし
オゾン層有害性	:	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	:	廃棄する場合、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
容器・包装の処理方法	:	空の容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、廃棄物処理法及び関係法規・法令に遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内法規則		
陸上輸送	:	該当しない
海上輸送	:	該当しない
航空輸送	:	該当しない
国際法規則		
海上輸送	:	該当しない
航空輸送	:	該当しない

15. 適用法令

消防法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	該当しない

16. その他の情報

引用文献	:	GHS分類結果データベース nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構） HP

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。